

**第8期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案に係る
パブリックコメント手続の実施結果について**

1 実施期間 令和2年10月1日（木）～令和2年10月30日（金）（30日間）

2 意見提出状況

意見提出者	23人	
意見の件数	119件	
	A 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	7件
	B 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの	79件
	C 計画には盛り込まないもの	1件
	D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	13件
	E その他要望・意見等	19件

3 主な意見概要

A 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの

(1) “生きがいづくり”はいいと思いますが、“生きがい対策”という言葉は違和感を感じました。「生きがい」「生きることの喜び、張り合い」「生きる価値」、対策でしょうか。

（対応）

「生きがい対策の充実」を「生きがいづくり・社会参画の促進」へ見直すこととします。

(2) 団塊の世代・団塊ジュニア世代が（〇〇年～〇〇年生まれ）と、どこかに記載があった方が分かりやすいのでは。

(3) 「フレイル予防」について下欄へ説明文を記載する。

(4) 「コーホート要因法」の説明文を記載する方がよい。

（対応）

それぞれ解説等を加えることとします。

B 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの

(1) 少子高齢の進行の中、将来を見据えての、早期の地域包括ケアシステムの構築の推進が必要と思われる。

(2) 市における高齢化の進行に対する事業計画に必要不可欠であります。保健・福祉・介護の一体的な計画に期待します。

(3) 圏域ごとの高齢化率や事業所数、サービス事業所数が詳しく分かりやすいです。個人的には、在宅介護、在宅医療を普及するには、夜間帯も対応できる事業が展開されていくことを望みます。

(4) 高齢者は住み慣れた地域で最後まで、と良く聞きます。そうすると町内会の協力等が必要ではないでしょうか。町内会、近所の方々と生きがいづくりだったり、認知症だったりのサポート等は期待できる気がします。

(5) 人生100年時代を迎え、元気高齢者も多いので、彼らの活力も活用しながらの計画展開が必要。

C 計画には盛り込まないもの

- (1) P37「新型インフルエンザ等対策行動計画」→「新型コロナウイルス・新型インフルエンザ等対策行動計画」へしたほうがよい。

(対応)

「新型インフルエンザ等対策行動計画」は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、政府行動計画や県行動計画との整合性を図った上で定めている計画名であり、現在のところ、名称変更の予定はありません。

D 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの

- (1) 地域の実情にあった地域密着型のサービス。子供たちとの交流が出来る施設等があれば良いと思う。
- (2) 高齢者を含めた全市民にホームドクターを持つよう指導してもらいたい。

E その他要望・意見等

- (1) 右肩上がりの数字は紛れもない事実。これを右肩下がりにもっていくのは、難しいが、せめて現状維持での進行にできたらと思う。
- (2) 現在でも高齢者 75 歳以上が多く、今は健康であってもいつどのような体力の変化・思考力低下がおりうるかわからないと思います。

※パブリックコメント手続結果につきましては、

- ・ 11 月 26 日に開催予定の第 4 回策定・管理委員会において報告します。
- ・ 令和 2 年第 4 回市議会定例会の市民健康福祉委員会において報告します。
- ・ 市政情報コーナーや市ホームページ等により公表します。